歴史認識問題研究会・特別集会

「安倍晋三元総理大臣と歴史認識問題」

７月８日、奈良市で演説をしていた安倍晋三元総理大臣が凶弾に倒れ、殉職しました。今も続く反日メディアによる執拗な安倍たたきは安倍元総理が「戦後レジーム」と正面から戦っていた証拠です。安倍元総理の業績は多岐にわたりますが、歴史認識問題で政府がきちんとした反論をするようにしたこともその一つです。

安倍元総理が歴史認識問題で何を考えどのように行動したのか、その功績を振り返り、その上で、安倍元総理がまかれた種を実らすために何をすべきかをともに考えため、特別集会を開催します。安倍元総理の思想と行動を最もよく知る衛藤晟一議員に基調講演をしていただき、歴史認識問題研究会役員が議論します。

日時： 2022 年 12 月 18 日(日)
14:00～16:00（13:30 開場）

場所： 全国町村会館　ホール会場（東京都千代田区永田町 1-11-35）
【アクセス】有楽町線、半蔵門線、南北線「永田町駅」3 番出口徒歩 1 分
丸の内線、銀座線「赤坂見附駅」徒歩 8 分

参加費：1 千円　※予約不要、そのまま会場までお越しください。

基　調　講　演

衛藤晟一参議院議員
平成9年、安倍元総理らと歴史教科書問題に取り組むため、日本の前途と歴史教育を考える若手議員の会を結成。第2期安倍政権では約 7 年、首相補佐官として歴史問題を担当。

パネルディスカッション

江崎道朗
（コーディネーター）
評論家、歴認研副会長

西岡力
麗澤大学客員教授、
歴認研会長

髙橋史朗
麗澤大学特別教授、
歴認研副会長

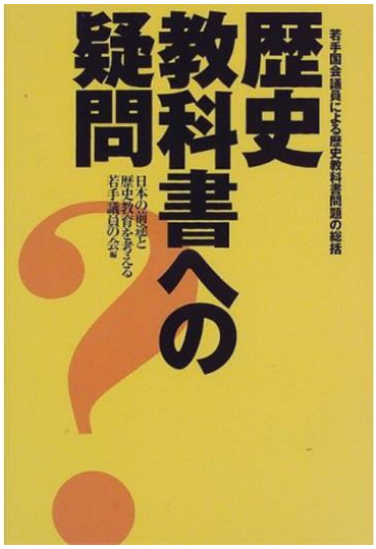
伊藤哲夫
日本政策研究センター代表、
歴認研顧問

【主催・問い合わせ先】歴史認識問題研究会（千葉県柏市光ヶ丘２－１－１）
E-mail：　info@harc.tokyo　　ＴＥＬ ：０９０－７９８２－８６７０（長谷）

なぜ日本国民は安倍元総理に敬意を払い、反日日本人は嫌うのか？

「(慰安婦問題について)海外のプレスを含め、正しくない事実による誹謗中傷があるのは事実でございます。性奴隷あるいは二十万人といった事実はない。政府としてはそれは事実ではないということはしっかり示していきたいと思います」
(平成28年1月18日参議院予算委員会安倍総理答弁)

写真は自民党オフィシャル HP
「第 198 回国会における安倍内閣総理大臣施政方針演説」
(2019 年 1 月 28 日) より引用



平成9年12月に日本の前途と歴史教育を考える会編で出版された単行本。慰安婦強制連行のウソを事実に基づき批判する内容などが含まれている。安倍元総理たちの歴史認識問題への取り組みの原点。

勉強会で明らかになったこと

安倍　晋三（日本の前途と歴史教育を考える若手議員の会 事務局長）

賛否の立場からなる講師のご意見、さらに資料を検討した結果、軍、政府による強制連行の事実を示す資料は、二次にわたる政府調査、各民間団体の執拗な調査によっても、まったく発見されなかったこと（調査の責任者であった石原前官房副長官も明確に証言、吉見教授もその事は認めている）、従軍慰安婦騒動のきっかけを作った吉田清治氏の済州島での慰安婦狩り証言とその著書、それを証言した朝日新聞の記事、また朝日新聞の「女子挺身隊を慰安婦にした」との大々的報道、いずれもまったくのでっち上げである事が解りました。

平成五年八月四日の河野官房長官談話は、当時の作られた日韓両国の中で、事実より外交上の問題を優先し、また、証言者十六名の聞き取り調査を、何の裏付けも取っていないのにもかかわらず、軍の関与、官憲等の直接な加担があったと認め、発表されたものであることも判明しました。

教科書採択権を持つ各地の教育委員会は、左翼的な教師に採択の実態をゆだねており、結果として、そうした教科書のみ学校で使われることになっているということも明らかになりました。私は、小中学校の歴史教育のある、姿は、自身が生まれた郷土と国家に、その文化と歴史に、共感と健全な自負を持てるということだと思います。日本の前途を託す若者への歴史教育は作られた、ねじ曲げられた逸聞を教える教育であってはならないという信念から、今後の活動に尽力してゆきたいと決意致します。

(同書 449～450 頁、赤字は引用者)